

# 大阪城

2024  
12/2  
(月)  
14501  
号

全港  
西成分会

247  
6647-  
4947

12月、時間の道と流れの中で、ようやく来年を見渡せる峠のところにまでやってきている。冥途は向う3ヶ月ほど厳しかったから、ウレシカセ、肺止たなどに気をつけて、冥途対策も工夫として春をつかせとりたいたいものです。

先日、新今宮駅裏のよせやさんの前を通った。アルミ缶が270円に上ってきた。3年近く前キロ60円まで下つていったのが、ロシア・ウクライナ戦争が始まった直後に260円まで上った時があった。最近では230〜260円をいったりきたりしていったが、キロ270円に上ってきた。

来年1/20からは、アメリカのトランプになり、関税をかけるのとわめつてくるので、アメリカ国内の物価は高くなる。インフレが予想されたりしている。高関税のかけあいになれば、物の動きは悪くなる。いろんな面で日本の経済も変調をきたすのではなからうか。

すでに、日本の政治も、少数派の石破政権になり、野党の意見も聞きながらの政治になってきている。12/21まで、約20日ほどの臨時国会であるが、3万円の話だけでなく、日本の将来の政治経済をうらなうものとして、一歩ふみこいで聞いていたものごとです。

気候温暖化などに金をとせなさい。ワフチンなどきかないとかいう科学をバカにしてくるトランプの風が強くなつていくが、科学をエロロにしてかきすすめて進めたものです。

# 師走(12月)となりました。

**昨日 あいりん総合センター 路上生活者ら立ち退き強制執行**

老朽化で建て替えが決まり閉鎖された大阪・西成区にある日雇い労働者の支援施設の敷地内に残っている路上生活者らに対し、大阪地方裁判所は、12月1日朝、敷地内から立ち退かせる強制執行を始めました。

老朽化で建て替えが決まっている大阪・西成区の日雇い労働者の支援施設「あいりん総合センター」をめぐるっては、敷地内に残っている路上生活者らに対し、大阪府が立ち退きを求めた裁判で最高裁判所がことし5月、上告を退ける決定をし、路上生活者側の敗訴が確定しました。

しかし、路上生活者らが立ち退きに応じなかったため、大阪府の申し立てを受けた大阪地方裁判所は1日午前7時半すぎから強制執行を始めました。

施設の周辺では、警察官が警備にあたり、裁判所の執行官が敷地内に残っている路上生活者らに声をかけて立ち退きを求めたり、府や大阪市の職員が荷物などをトラックで運んだりしていました。路上生活者は、一時的に大阪市内のケアセンターなどに入り、市が生活支援を行うことにしています。

大阪府は、現在の施設を解体し、跡地の南側に新たな施設を建設する計画を立てていましたが、路上生活者らが残っていたために遅れていて、今後、解体工事などが進められる見通しです。Nhkニュース2024-12-01

## 時刻の流れはあわただしく過ぎて行きます。